

元村北自治会

人も行事も維持した「恒例行事」

元村北自治会は高齢者も元気あふれる地域。65歳以上を対象とした、週1回のいきいきサロンとくさの会では、卓球、輪投げ、スカットボール、グランドゴルフなど、普段から運動する機会を多く設けており、80歳を超えた方でも元気に走り回っている。このような地域の先輩方を敬うべく、毎年恒例で75歳以上を対象とした敬老祝賀会が行われている。敬老祝賀会には婦人部や子ども会も参加し、芸や演劇を披露する。食事は仕出しだけでなく、自治会内の婦人部が手作りした料理も振舞われ、参加者に喜ばれている。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、恒例行事を途絶えさせないよう、米寿を迎えた方に記念品と祝い状を自宅へお届けした。



敬老祝賀会

世代を越えた交流

2月の恒例行事として、子供たちと親、祖父母の三世代で一緒にそば打ちに取り組む。ソバの粉の状態から、全員が協力して丁寧にそばを作っていく。自分たちでがんばってつくったそばの味は格別で笑顔があふれる。敬老会や運動会と同様に子どもからお年寄りまでだれでも参加できるようになっており、地域内の大切な世代間交流の場となっている。昔から毎年続いていることを大切にすることで、世代を越えた繋がりを形成することができる。そのため、新しい活動を始めること

も大切だが、元村北自治会では現状維持に力を注いでいる。今後は若い人たちも積極的に参加できるように内容にも工夫を凝らしていきたい。

環境美化活動

地域の環境美化に関して、自治会内で協力して花植えを行っている。毎年5月の初めに種まきから始め、沿道ぞいの草取り、植え付けをしていく。回覧等で呼びかけたところ、若者からご高齢の方まで30名ほどが集まった。花の植え方に詳しい人にコツを教わりながら作業することで地域内のコミュニケーションも取ることができる。今年も数種類の花が植えられ、地域内の沿道を華やかに彩っている。



地域の有志で植えた花が沿道を彩る

今後の活動

日頃から元村集落センターに防災用品を備蓄していたため、備蓄を保管するための倉庫などの整備を検討している。コロナ禍の影響で恒例行事が中止となってしまったが、自治会に還元できるよう考えていきたい。



左から荒川稔氏(自治会長)、松森政雄氏(前自治会長)、取材時撮影